

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
 (Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
 掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

市民の森 デビュー

● はじめて来ました。  
 まだ春が浅いですが、いきものが活動しはじめていました。  
 アケボノソウを教えてくださいました。花は夏とのこと、花を見にきましょう！(K.S)

● 素晴らしい環境に感謝。  
 アケボノソウ、トリカブトの幼葉が新しい発見でした。

又、トチノキの冬芽をはじめて観察できた。オオムラサキの幼虫は大変うれしかった。(望)

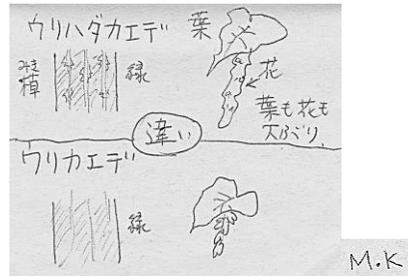
● 100m位の間にも、植物、動物、昆虫等の興味深い話がたくさんあり、たいへんおもしろかったです。

次回が楽しみです。(K.N)

● 春先に森を歩いて気になった木、草を追跡して、成長や変化をみていくと楽しいことに気がきました。(島①)

● 草木の名前を知り由来を知ること、なるほど！と思ったり、親しみを感ずりました。(ex ミヤマウズラの葉の模様)お気に入りの木、花をみつけ追跡、良いかも。(島②)

違い →ガイドブックP68、125、131



いい香り

雨あがりて空気が澄んでいて風もあり、コブシでしょうか？いい香りが漂ってきました。(C.S)



コブシ→ガイドブックP68、120

アケボノスミレ→ガイドブックP17

● アケボノスミレが初見え。  
 濃赤紫色の何とも言えず魅力的(K)



輪になって

(悦)

寒い日でしたが、陽だまりで輪になって、自己紹介。今年一年、よろしくお願いま～す！



冬眠明け

● 5カ月振りの山歩きは少々しんどかったのですが、植物博士、昆虫博士、新たに鳥博士が加わり、楽しい新鮮な山歩きとなりました。

● 長かった冬からの眠りより覚め、市民の森も春を迎えつつあります。

とはいえ、コブシ、アケボノスミレなど花はまだまだごく一部。クリンソウ、ミヤマウズラ、…。枯草の中から元気な葉が顔を出し、これからの観察会の期待を持たせてくれました。(Fu)

● 久しぶりに、自然の中で過ごして気持ちの良い時間でした。トチの木？のネバナバが寒さから身を守ってると聞いて植物の生きる力を感じました。もう、春ですね。(mizky)

蝶 (馬)

炭焼き小屋周辺にて、  
 スギタニルリシジミ 吸水集団  
 ♂♂ 7～10頭  
 ● スギタニルリシジミ



出会えた 鳥 (信)

- センダイムシクイ
  - サンショウクイ
  - アトリ
  - マヒワ
  - カシラダカ
  - ヤマガラ
  - エナガ
  - シジュウカラ
  - アオゲラ
  - アカゲラ
  - コゲラ
  - カケス
  - イカル
  - ハシブトガラス
  - トビ
  - ウグイス
  - カワラヒワ
  - ホオジロ
  - ツバメ
  - ヒガラ
  - カルガモ
- 21種



カケスの羽

歓迎

● 鳥専門の(信)さんの参加で心強い。しかし、双眼鏡の使い方、いまいち！！(K)

**春で〜す!**

● 厳しい冬を乗り越えて春を迎えた。沢山の木の芽、草の芽を見ました。毎年決まった所で成長を続けて来た植物たち...脱帽です!! 5月から自分の眼と耳を全開して観察します!!

目立っていた木の芽:

ウワミズザクラ、ウリカエデ

目立っていた草の芽:

ミドリヒメザゼンソウ、クリソウ

(☆925)

→ガイドブックP70、119、68、131、79

● この時期は花も生き物も少なく、さみしいけど、先陣をきって咲く花、生き物に生命の力強さを感じました。

これからは、吉田山もにぎやかになりそうです。(吉)

**ウワミズザクラの根元に泡!**



● ウワミズザクラの根元のナゾのアワ? 午後には乾燥して消滅していた。(馬)

● ウワミズザクラの根元にシャボン玉か? 虫の卵かと思ったけど、樹液なのですか。アワアワはさわるとすぐに消えてしまう。このウワミズザクラにも、あのウワミズザクラにも、木の南側(?)の根元。来月は、どうなっているのかしら。(su)

● ウワミズザクラの根元の泡々。何とも不思議。これは春の生理現象?

● 木の根元の真白な泡が必ずウワミズザクラの根元にある。不思議。正体が知りたいですね。(M)

後日の調査結果は右上を見てね。

**キツネノカミソリ→ガイドブックP101**

キガンバナ科のキツネノカミソリ。雪融けた森の樹冠が透けている間に沢山光合成をして、もうすぐ葉は枯れます。それから、ちゃんとお盆の頃に花が賑やかに咲きます。(悦)



**ウワミズザクラの根元の泡 調査結果(悦)**

この泡は、雨が枝を伝い樹幹を流れた水に樹液が混じたことによって生じるという説もあるが、諸説あり、解明に至っていないらしい。取り敢えず、雨の日にウワミズザクラで発生するという事は確か。

雨あがりだったことが、「禍転じて福」

**鳴き声**

● 池の周辺でカエルの鳴き声が聞こえました。(kk)

**キブシ満開です。→ガイドブックP67**

この株は雄株です。花粉を飛ばした雄花は、もうすぐ散ります。(悦)



**森の中の不思議**

水たまりに無数の小さな小さな虫たち。一匹ずつが集まって、群れをなして大きな(ケヤキの葉っぱぐらいの)形を作っていた。どこから来たのか。群れるのは、イワシたちと同じ目的なのか? 森の中の不思議。(su)

**アケボノソウ→ガイドブックP111**

冬を越したアケボノソウのロゼットが元気です。8月の花が楽しみ。(悦)



**ミドリヒメザゼンソウ**

● あちこちに増えている。どうやって仲間を増やすの? そのうちに群生地になるといいな。(su)



ウモンテントウ

**★今日のなんでかな〜? (矢)**

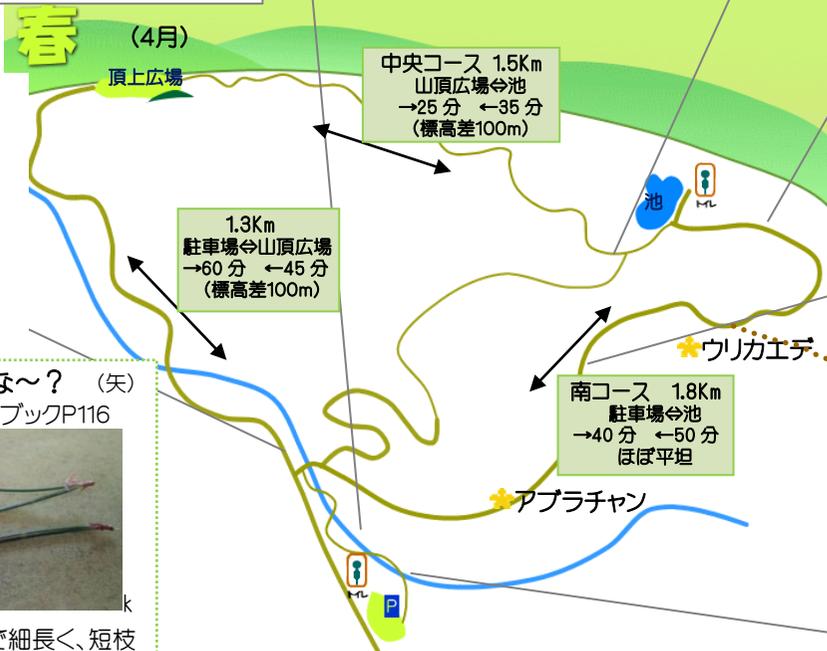
アカマツ→ガイドブックP116



アカマツの葉は針状で細長く、短枝に2本づつ束生する。



輪切りにして断面を観察すると、互いに向き合うと円になっている。



**★ 今日のなんでかな〜? つづき (矢)**



そこで、こんな本を発見「自然にひそむ数学—自然と数学の不思議な関係—」佐藤修一著 興味のある方は是非読んでみて。

アカマツの松ぼっくりを良く見るとみんな螺旋模様になっている。不思議だな〜。身近な樹木であるアカマツにこんな不思議が隠されているとは...!